

製品名: CYP4B1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09670**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	CYP4B1
別名	CYP4B1; Cytochrome P450 4B1; CYP4B1; Cytochrome P450-HP
遺伝子 ID	1580.0
SwissProt ID	P13584
免疫原	抗血清はヒトシトクロム P450 4B1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

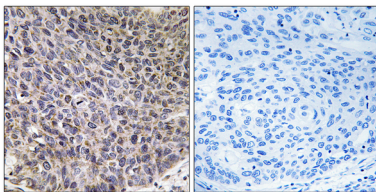
背景

この遺伝子は、シトクロム P450 スーパーファミリーに属する酵素をコードしています。シトクロム P450 タンパク質は、薬物代謝や

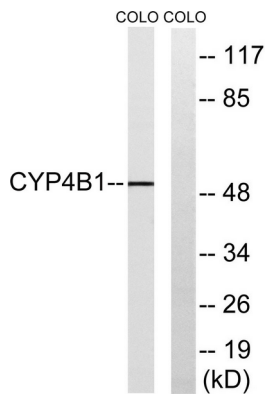
コレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒するモノオキシゲナーゼです。このタンパク質は小胞体に局在します。げっ歯類では、相同タンパク質が特定の発がん物質を代謝することが示されているものの、ヒトにおけるこのタンパク質の具体的な機能は解明されていません。この遺伝子には複数の転写産物バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2016年1月],触媒活性: $RH + \text{還元型フラビントタンパク質} + O(2) = ROH + \text{酸化型フラビントタンパク質} + H(2)O$,補因子: ヘム基,機能: シトクロム P450 は、ヘムチオレートモノオキシゲナーゼのグループです。肝ミクロソームにおいて、この酵素は NADPH 依存性電子伝達経路に関与しています。ステロイド、脂肪酸、生体異物など、構造的に無関係なさまざまな化合物を酸化します。誘導:P450 は、薬物、農薬、発がん物質などのさまざまな外来化合物によって肝臓やその他の組織で高レベルに誘導される可能性があります。オンライン情報:CYP4B1 アレル,類似性:シトクロム P450 ファミリーに属します。 ,

研究分野

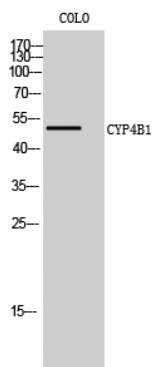
画像データ



シトクロム P450 4B1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



COLO 細胞ライセートのシトクロム P450 4B1 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CYP4B1 ポリクローナル抗体を用いた COLO 細胞のウェスタンブロット解析